

## ミサ次第

会衆は太字部分です。内容は時期、日にち等により一部変わります。

### お告げの祈り

先唱：ミサの始まる前にご一緒にお告げの祈りを唱えましょう。お立ちください。主のみ使いのお告げを受けて、**会衆：マリアは聖霊によって神の御子を宿された。**〔アヴェ・マリアの祈り〕

先唱：アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます。あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています。

**会衆：神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。**

先唱：わたしは主のはしため、**会衆：おことばどおりになりますように。**〔アヴェ・マリアの祈り～繰り返し〕

先唱：みことばは人となり、**会衆：わたしたちのうちに住まわれた。**〔アヴェ・マリアの祈り～繰り返し〕

先唱：神の母聖マリア、わたしたちのために祈ってください。**会衆：キリストの約束にかなうものとなりますように。**

先唱：神よ、み使いのお告げによって、御子が人となられたことを知ったわたしたちが、キリストの受難と十字架をとおして、復活の栄光に達することができるよう、恵みを注いでください。わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同：**アーメン。**

### 開祭

（開祭の祈り）

（開祭の祈り）

先唱：司祭の入堂を迎え聖歌...を歌いましょう。
▶『聖歌集（聖堂モニタ）』

■入祭の挨拶
司祭：父と子と聖霊のみ名によって。（右手で額、胸、左肩、右肩の順に十字を切る。）**会衆：アーメン**

司祭：主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆さんとともに。

**会衆：また司祭とともに。**

■回心
司祭：皆さん、神聖な祭りを祝う前に、わたしたちのおかした罪を認めましょう。

司祭：全能の神と、**会衆：兄弟の皆さんに告白します。わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪をおかしました。聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟の皆さん、罪深いわたしのために神に祈ってください。**

■あわれみの賛歌（Kyrie）▶『聖歌集（聖堂モニタ）』
先唱：主よ、あわれみたまえ。
**会衆：主よ、あわれみたまえ。**
先唱：キリスト、あわれみたまえ。
**会衆：キリスト、あわれみたまえ。**
先唱：主よ、あわれみたまえ。
**会衆：主よ、あわれみたまえ。**

■栄光の賛歌（Gloria）▶『聖歌集（聖堂モニタ）』
司祭：天のいと高きところには神に栄光。
**会衆：地には善意の人に平和あれ。**
われら主をほめ、主をたたえ、主をおがみ、主をあがめ、主の大いなる栄光のゆえに感謝したてまつる。
**神なる主、天の王、全能の父なる神よ。主なる御ひとり子、イエズス・キリストよ。**

**神なる主、神の小羊、父のみ子よ。世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。世の罪を除きたもう主よ、われらの願いを聞き入れたまえ**
父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。

主のみ 聖なり、主のみ 王なり、主のみいと高し、イエズス・キリストよ。
**聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。アーメン。**

#### ■集会祈願

司祭:祈りましょう。▶『聖書と典礼』
聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

**会衆:アーメン**

### ことばの典礼

■第一朗読
朗読者は朗読台で朗読を行う。▶『聖書と典礼』
■答唱詩編
先唱が詩編を会衆は答唱を歌う。▶『聖書と典礼』
■第二朗読
朗読者は朗読台で朗読を行う。▶『聖書と典礼』
■アレルヤ唱（立って歌います。）▶『聖書と典礼』
■福音書の朗読
司祭が朗読する。▶『聖書と典礼』

司祭：主は皆さんとともに。

**会衆：また司祭とともに。**

司祭：...による福音。

**会衆：主に栄光。**（親指で、額、口、胸に、十字架のしるしをする。）

司祭：キリストに賛美。

**会衆：キリストに賛美。**

司祭：どうぞお掛けください。

■説教（司祭が朗読された福音に関連する説教をする。）

■信仰宣言（Credo）（立ちます。）

司祭：天地の創造主、

**会衆：全能の父である神を信じます。**
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられて死に、葬られ、陰府（よみ）に下り、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン。

■共同祈願

先唱：▶『聖書と典礼』

会衆： ”

### 感謝の典礼

■奉納の儀（主日の場合は献金が集められます。任意です。）
■パンを供える祈り（奉納の歌が歌われない場合、唱える。）
司祭：神よ、あなたは万物の造り主、ここに供えるパンはあなたからいただいたもの。大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです。

**会衆：神よ、あなたは万物の造り主。**

■ぶどう酒の準備、カリスを供える祈り（奉納の歌が歌われない場合、唱える。）

司祭：神よ、あなたは万物の造り主、ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの。大地の恵み、労働の実り、わたしたちのいのちの糧となるものです

**会衆：神よ、あなたは万物の造り主。**

■清め

■奉納祈願（ここから拝領が終わるまで立ちます。）

司祭：みなさん、このささげものを、全能の神である父が受け入れてくださるよう祈りましょう。

**会衆：神の栄光と賛美のため、また全教会とわたしたち自身のために、司祭の手を通しておささげするいけにえをお受けください。**

司祭：（▶『聖書と典礼』）わたしたちの主イエス・キリストによって。

**会衆：アーメン。**

■叙唱前句

司祭：主は皆さんとともに。

**会衆：また司祭とともに。**

司祭：心をこめて神を仰ぎ、

**会衆：賛美と感謝をささげましょう。**

■叙唱（司祭はミサ典礼書の叙唱のうちから選んで唱える。）
司祭：聖なる父、全能永遠の神、（叙唱）、終わりなくほめ歌います。

■感謝の賛歌
▶『聖歌集（聖堂モニタ）』
先唱：聖なるかな
**会衆：聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。主の栄光は天地に満つ。天のいと高きところにホザンナ。ほむべきかな、主の名によりて来たる者。天のいと高きところにホザンナ。**

■第2奉献文

司祭：まことにとうとくすべての聖性の源である父よ、いま聖霊によってこの供えものをとうといものにしてください。わたしたちのために主イエス・キリストの御からだと＋御血になりますように。主イエスは、すすんで受難に向かう前に、パンを取り、感謝をささげ、割って弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。これはあなたがたのために渡されるわたしのからだ。」

司祭：食事の終わりに同じように杯を取り、感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。これはわたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて、罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血（である）。これをわたしの記念として行いなさい。」

■記念唱

司祭：信仰の神秘。

**会衆：主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。**

司祭：わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、ここであなたに奉仕できることを感謝し、いのちのパンと救いの杯をささげます。キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、聖霊によって一つに結ばれますように。

世界に広がるあなたの教会を思い起こし、わたしたちの教父・・・、わたしたちの司教・・・、すべての教役者をはじめ、全教会を愛の完成に導いてください。また、復活の希望をもって眠りについたわたしたちの兄弟と、すべての死者を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。なお、わたしたちをあわれみ、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、使徒とすべての時代の聖人とともに永遠のいのちにあずからせてください。御子イエス・キリストを通して、あなたをほめたたえることができますように。

■栄唱

司祭：キリストによってキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、

一同：**すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。アーメン**

### 交わりの儀

■主の祈り
司祭：主の教えを守り、みことばに従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。
**会衆：天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。み国が来ますように。みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。わたしたちの罪をおゆるしください。**

**わたしたちも人をゆるします。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。**

■副文

司祭：いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与えください。あなたのあわれみに支えられ、罪から解放されて、すべての困難にうち勝つことができますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

**会衆：国と力と栄光は、限りなくあなたのもの。**

■教会に平和を願う祈り
司祭：主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える。」
わたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧み、おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。
**会衆：アーメン。**

■平和のあいさつ
司祭：主の平和がいつも皆さんとともに。
**会衆：また司祭とともに。**
司祭：互いに平和のあいさつをかわしましょう。
**会衆：主の平和（周囲の方とあいさつする）**

■平和の賛歌（Agnus Dei）▶『聖歌集（聖堂モニタ）』
先唱：神の小羊、
**会衆：世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。**
先唱：神の小羊、
**会衆：世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。**
先唱：神の小羊、
**会衆：世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。**

■拝領前の信仰告白
司祭：神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。
**会衆：主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、あなたをおいてだれのところに行きましよう。**

■拝領の歌（聖歌隊）
■拝領（洗礼を受けていない方は祝福を頂けます。）
■拝領後の感謝
■拝領祈願
司祭：祈りましょう。
司祭：▶『聖書と典礼』...わたしたちの主イエス・キリストによって。
**会衆：アーメン。**

### 閉祭

■お知らせ
▶聖堂モニタ

■派遣の祝福
司祭：主は皆さんとともに。
**会衆：また司祭とともに。**
司祭：全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。（右手で額、胸、左肩、右肩の順に十字を切る。）
**会衆：アーメン**

■閉祭のあいさつ
司祭：感謝の祭儀を終わります。行きましよう、主の平和のうちに。
**会衆：神に感謝。**

■閉祭の歌
▶『聖歌集（聖堂モニタ）』



VER.1.3 2020.9.20 SR.杉原教室作成
https://mothermary.faith